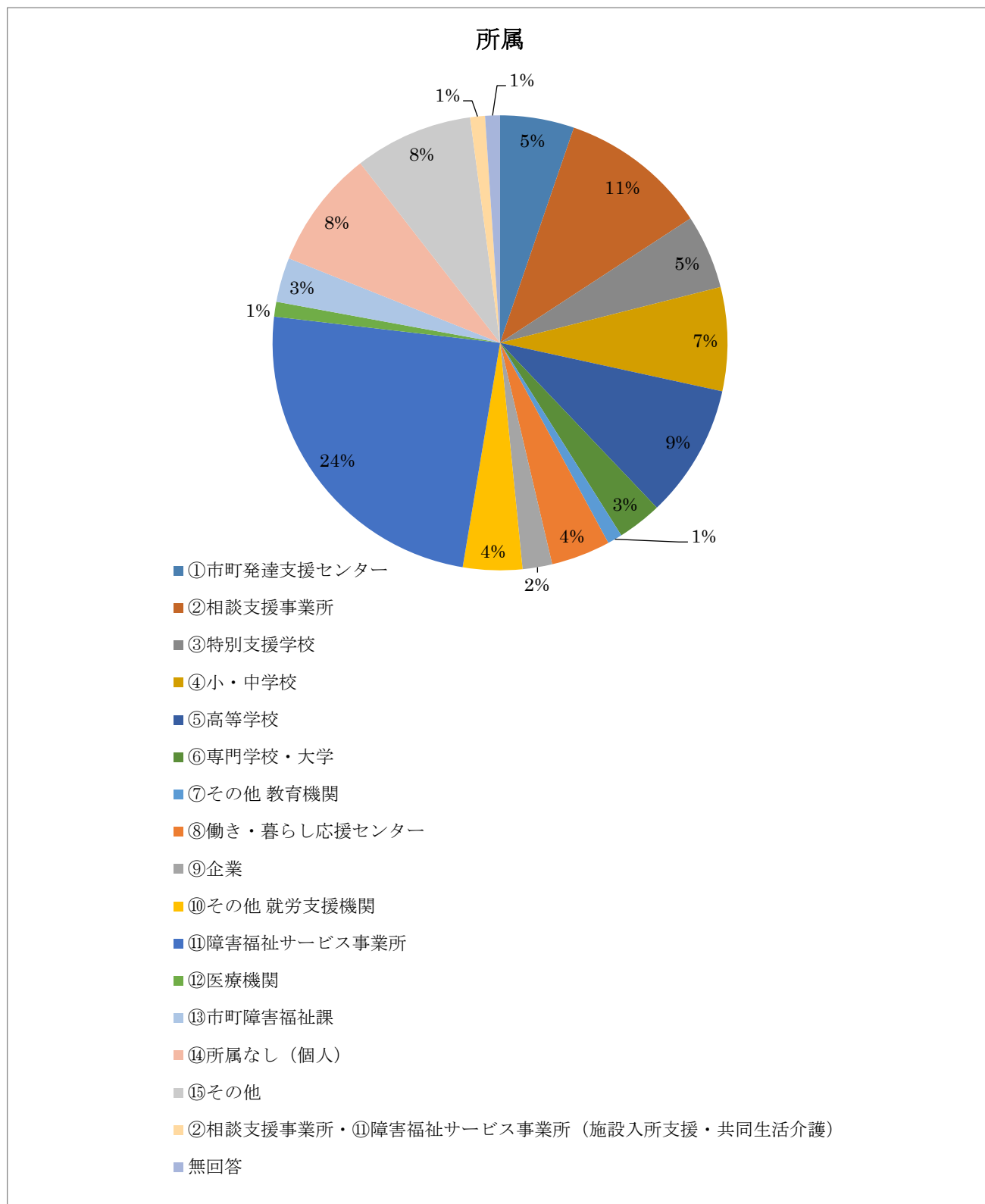


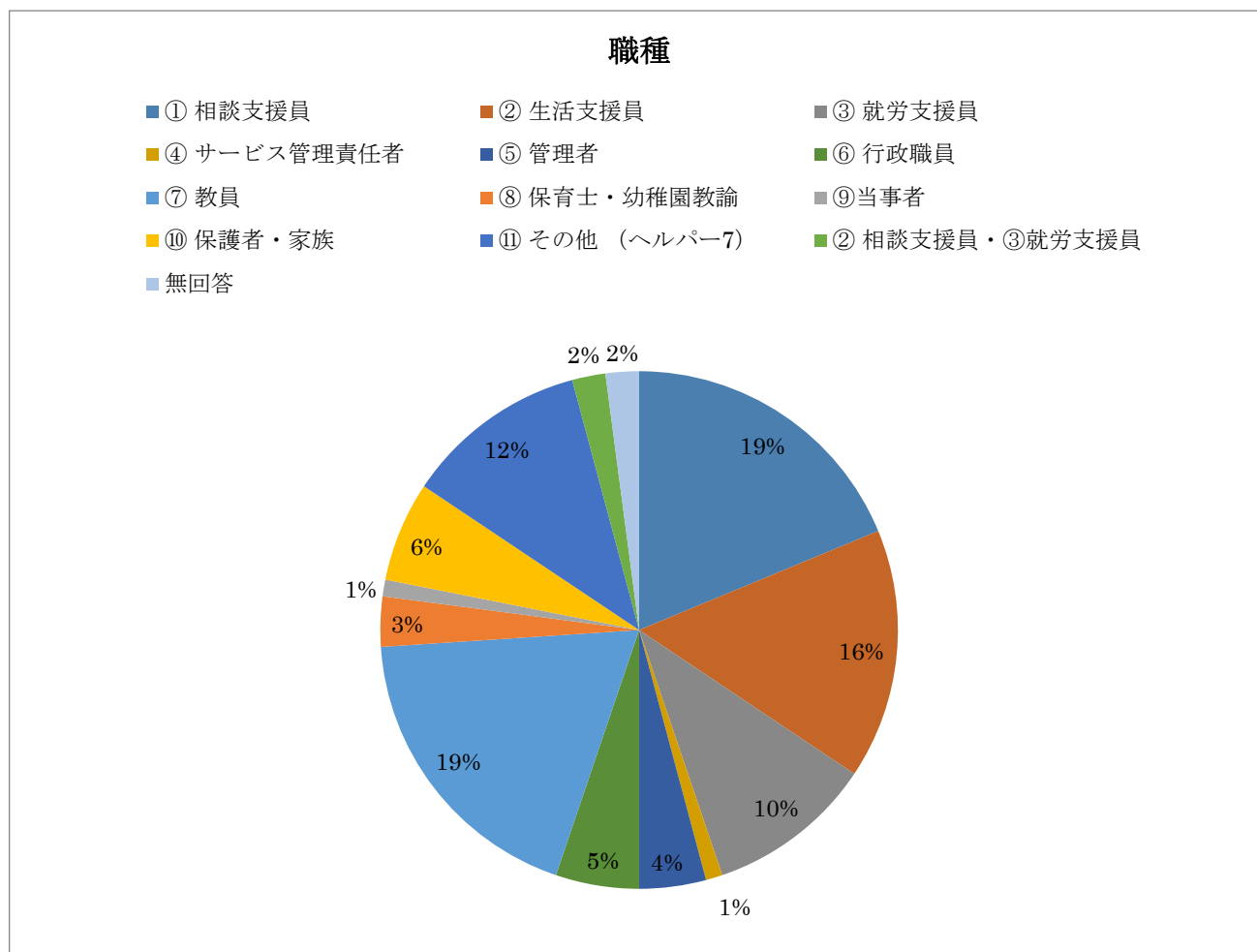
平成 29 年度 滋賀県発達障害者支援センター 第2回公開講座アンケート集計

アンケート回答率：77%

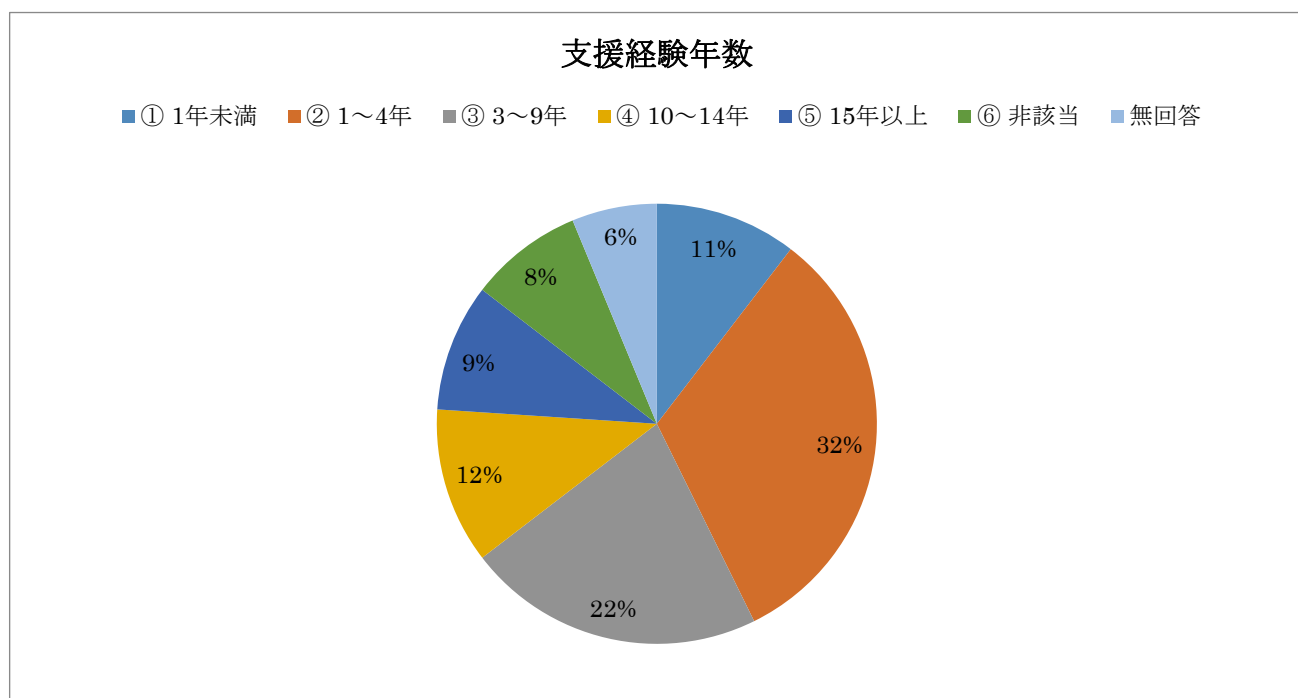
所属について



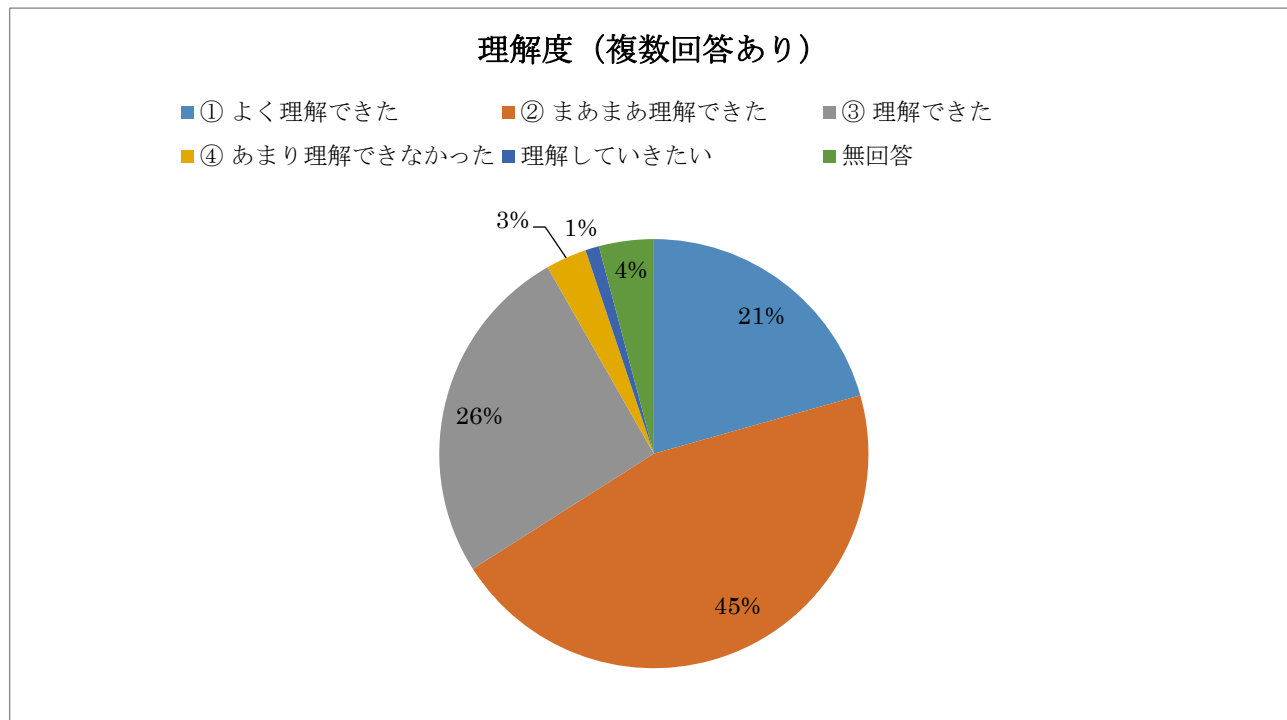
職種について



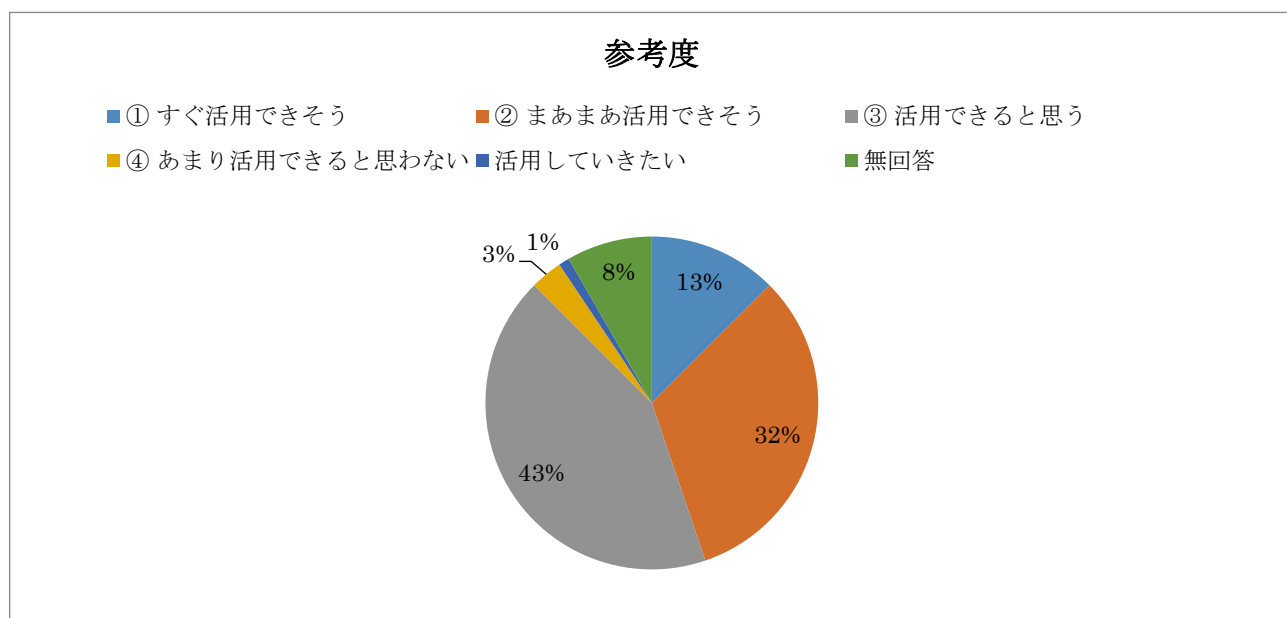
支援経験年数について



本日の講演会について
理解度



参考度



その他ご感想など ※アンケートの自由記述から抜粋し、個人が特定されないような形で要約させていただきました。

【発達障害のある方への支援施策について】

- 知らなかった施策や枠組みがあり、勉強になりました。
- めまぐるしく変わっていく制度や、新たに始まる取り組みなどで情報が混乱する中、本人をどう適切につないでいくかが課題だと思いました。
- 理解が進んでいるかどうか、就職率が上がっているかどうかなど、グラフの数値だけではなく、なぜそうなっているのか要因として考えられることや、工夫されていること、困難なケース等も知りたかったです。
- 法改正に於ける問題点や障害者雇用の定着率についても、知りたかったです。

【大学における支援について】

- 実際に大学の中で学生さんの支援をされている先生方のお話をうかがい、他者との関わりの中でしんどさを抱える人たちがこんなに多いとは思っていません、驚きました。
- 大学における発達障害をもつ学生への支援の現状について、具体的にきくことができ大変参考になりました。学童期に何に取り組むべきかなど、考えさせられました。
- 大学での支援が思っていた以上に進んでいることに驚いたと同時に、期待をもつことができました。
- 大学でも取り組みが始まっていることを知り、心強く思いました。
- 「障がい者」というラベリングをせず、学生が自分の特性とどう向き合っていくかということにきちんと付き合っていくことが大切だと感じました。
- 大学における発達障害者支援の課題は、高校におけるそれと共通しているように感じました。高卒生のほとんどが大学へ進学する昨今、高校でなすべき支援が大学等へ先送りされてしまっているのではないかと改めて身につまされました。
- 発達障害の疑いのある方や発達障害者の方への大学でのサポート体制が、今後更に整ってほしい（他の支援機関との連携も含めて）と思いました。
- 夢翔会さんのモデル事業が、県立高校や他圏域にも広がればよいなと期待しています。
- 高校における特別支援教育の現状や、発達障害者の就労支援の具体例も聞きたかったです。
- 支援を受けている学生さんからのお話も聞きたかったです。

【就労支援について】

- 学生の時から支援者との関わりと、マッチングした就労へのつながりの重要度と連携の大切さを改めて感じました。
- 大学卒業時の就職活動で発達障がいが発覚するケースへの支援の動向も聞きたかったです。（障がい者就業・生活支援センターは大学と連携して企業との橋渡しはできるのか、など）
- 矯正施設（刑務所・少年院）では、精神障害、発達障害を持った被収容者が増えてきています。再犯防止については就労先を決定することが重要であり、連携を深めていきたいです。

【将来を見据えた支援、切れ目のない支援について】

- 先のことを知ることで、幼少期から身につけておく力が明確になり、すべきことがわかりました。
- 幼い頃から大人になるまで、連続した支援が受けられることが非常に重要であると感じました。

- 大学でも困り感を持つ学生への支援を行っている（体制がとれている）大学があるんだということがわかってよかったです。だからこそ、支援が途切れていないようにしていきたいです。
- 「切れ目のない支援」という意味で、幼・小・中・高・大・就労とそれぞれのライフステージで関わる可能性のある機関（支援者）が一堂に会して研修を受ける意義と、もっと突っ込んで役割分担（それぞれができること）の確認ができる場の必要性を感じました。